

クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2021年12月22日

シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～13号

【シンガポールドル建て】シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～3号

【円建て】シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド1号～3号

運用状況につきまして

投資家の皆様におかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンドシリーズ(以下、「本ファンドシリーズ」といいます)におきまして、2021年6月14日付運用報告書以降の状況につきご報告を申し上げます。

本レポートの要旨

- 2020年12月25日付報告書にてご報告の通り、本ファンドシリーズの案件①の債務リストラクチャリング(再編)として、案件①の資金需要者である BONSEY JADEN PTE. LTD. (以下「U社」といいます)、U社の新規投資家(以下「投資家A」といいます)、U社の既存株主と、2020年11月18日に株式割当契約書・2020年12月15日に債務再編契約書および株主間契約書を締結しました。Crowdcredit Estonia OÜ(以下「エストニアグループ会社」といいます)は、投資家Aの増資資金の一部からSGD 3,000,000の返済を受けました。
- エストニアグループ会社は、SGD 3,000,000の返済を受けた後、残りの債権残額を放棄する代わりにU社の株式を取得し、2024年中までに投資家Aへ段階的に売却すること等でさらなる資金回収を図ります。本報告書の時点で、その方針に変更はありません。
- U社は、投資家Aから派遣された取締役3名、従来の取締役2名の新取締役会体制になりました。2020年12月28日から約2～3週間おきに開催されているU社の取締役会にクラウドクレジット・ファンディング合同会社(以下「当社」といいます)グループの社員が傍聴参加しています。当該取締役会を通して、年間の事業計画、月次のU社グループ会社の試算表、新規顧客獲得の状況などの共有を受け、その内容を精査しています。
- 直近の為替レートを踏まえた本ファンドシリーズの最終的な回収率は元本比(SGDベース)約38.3%～78.1%となります(2021年6月14日付報告値:38.3%～78.5%)。なお、既に返済受領したSGD 3,000,000に基づき、投資家の皆様へ分配済みの分が、元本比(SGDベース)下限の38.3%に該当いたします。

【本ファンドの投資スキーム概要】

1. 当社は、投資家の皆様からお預かりした出資金を、エストニアグループ会社に対して貸付けています。この貸付は、シンガポール広告代理店ベンチャー企業支援ファンド 1号～13号においては米ドル（USD）建てで、他の各ファンドにおいてはファンド名に記載の通貨建てで行っています。
2. エストニアグループ会社は、この貸付金を原資として、次のふたつの案件を行っています。
 - ▶ 案件①：シンガポールに本社を持ち広告代理業を営むベンチャー企業である U社への貸付
 - ▶ 案件②：【USD 建て】 1号～10号、【シンガポールドル建て】 1号～3号、【円建て】 1号～3号につきましては、Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介した、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC が取り扱う個人向けローン債権の購入

今回のご報告対象は、上記2のうち案件①です。

【本ファンドの運用残高(通貨シリーズ毎)】

- ・【円建て】 62,004,457 円
- ・【USD 建て】 USD 2,550,768.53
- ・【SGD 建て】 SGD 350,287.92

【前回報告書から現在までの状況】

2021年6月以降も、約2～3週間おきに開催されているU社の取締役会に、当社グループの社員が傍聴参加しています。

東南アジア各国では、2021年7月以降、新型コロナウイルス感染症が拡大したため、ロックダウンが断続的に導入されました。このため、各国の経済の持ち直しが遅れ、デジタル広告業の回復も遅延しています。

これらをふまえて、2021年1～11月のU社の実績は、事業計画を下回る結果となりました。本報告書の時点で入手している直近の2021年11月末時点の年間事業計画の達成率は、売上総利益78%、EBITDA▲36%¹となっており、年間実績も事業計画は未達となる見込みです。

2022年度の事業計画については、2021年12月の取締役会で共有があり、承認されました。事業展開地域における新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を見込み、EBITDAの黒字化を目標にしています。

引き続き、U社は新規顧客の営業面や、商品の技術面、経営管理面で投資家Aと連携する予定です。

¹ EBITDA = earnings before interest, tax, depreciation, and amortization の略で、国によって異なる税率、利率、償却率等の影響を取り除いて企業の収益性を比較することを可能にするために、税引前利益に支払利息と減価償却費を足し戻して算出する利益。

【回収率の見込みについて】

下記、【債務リストラクチャリング（再編）の内容】における回収方針に変更はございません。それをふまえた最終的な回収率は、足元の為替レートで計算をして、元本比（シンガポールドルベース）で約38.3%（※1）～78.1%（※2）になると見込んでいます。ただし、これらの回収率は、為替レートの変動によって増減いたします。なお、既に返済受領した SGD 3,000,000 に基づき、投資家の皆様へ分配済みの分が、元本比（SGD ベース）下限の 38.3% に該当いたします。

※1（株式売却がかなわないか U 社の清算等により株式が無価値となり、回収が 2020 年 12 月期の返済のみとなる場合）

※2（U 社の事業パフォーマンスの達成により最大額で投資家 A に株式を売却する場合）

【債務リストラクチャリング（再編）の内容】（2020 年 12 月 25 日付報告書の再掲）

U 社に対して出資を検討していた投資家 A は、2020 年 8 月 31 日付で出資にかかる条件規程書に合意して以降、U 社に対する詳細の調査を終え、最終的に出資の意向を固めました。

当社は、両社および U 社の既存株主と、契約にかかる交渉を行った結果、下記条件にて、2020 年 11 月 18 日に株式割当契約書、2020 年 12 月 15 日に債務再編契約書および株主間契約書を締結しました。

- ① 投資家 A からの出資を受けた U 社は、エストニアグループ会社からの融資の一部 SGD 3,000,000 をエストニアグループ会社に即時返済すること
- ② エストニアグループ会社が有する SGD3,000,000 を除く残りの U 社への債権残高については債権放棄し、エストニアグループ会社が U 社の株式を代替物として取得すること（債権と株式の交換を行うこと）
- ③ 投資家 A が U 社に対して定める 2022 年と 2023 年の条件※を U 社が満たすときには、エストニアグループ会社はそれぞれ 2023 年中と 2024 年中の 2 回に分けて投資家 A へ U 社株式を売却できること
- ④ または、投資家 A もしくは投資家 A の持ち株会社が特定の公開株式市場に上場している場合には、エストニアグループ会社が保有する U 社株式を投資家 A もしくは投資家 A の持ち株会社の発行する株式と交換すること。

※条件：U 社の年間 EBITDA および純利益基準がそれぞれ特定の水準を達成することを指します。

今後とも当社業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）
【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2020年12月末現在・単位：千円)	1,000	15,432,291	15,448,532	△ 16,240	2,003,020	30	297	222
Crowdcredit Estonia OÜ (2020年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	111,679,233	111,003,700	675,533	15,131,472	△ 240,808	△ 19,557	△ 19,557
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2020年12月末現在・単位：千円)	50,000	18,266,444	17,684,197	582,247	2,146,798	△ 434,008	△ 403,537	△ 455,279

※会計期間(2020年1月1日から2020年12月31日まで)の金額を記載しております。